

2月21日（木） 4階B室 9：00～9：40

1 単元名 「〇〇を買うとき、何を気にして選ぶ？」

2 単元について

5年生の子ども達は、8月末の林間学校の前後に「林間学校でお土産を買うとき、何を気にして選ぶ？」という単元の学習をした。事前に金額と時間と、買い物をする店が限定された中で、何を買うか考えて計画を立て、事後に実際の買い物について振り返りを行った。そこでは、「お土産としてふさわしいもの」の選び方を考えると同時に、加工食品に表示されている食品表示について学習した。

その上で本単元では、子ども達に消費者の役割について学ばせたい。まず、子ども達が「もの」を買う時には、何に価値を置いて選んでいるか、立ち止まって考えさせたいと考える。そして、友達と交流し、商品や目的、買う場面によって選ぶ基準はさまざまあることに気づかせた上で、消費者の判断は「経済的投票」といわれるように、社会への影響力をもつものであることに気づかせたい。

本時では「チョコレートを買うとき、何を気にして選ぶ？」という問いで話し合う。1月から2月にかけて、街中ではバレンタイン商戦がさかんに行われ、さまざまなチョコレートが店頭で並ぶ。日本においてチョコレートは、子どもたちの生活に身近な食べ物であるが、これまで、数ある商品の中からどのような基準で買ってきたのか、チョコレートという商品を例にして、改めて自分のものの選び方に目を向けさせたいと考える。そして、ファミリー内でひとつのランキングを作る。その際、何を優先させるのか、判断の基準はさまざま、簡単にはひとつにまとまらないことにも気づかせたい。

次時には、その原料生産の背景に子どもの人権を奪う児童労働の実態があることを知らせる。環境や人権に配慮した良心的な消費スタイルであるエシカル消費の考え方に触れ、公正で持続可能な社会の実現に向けたものの選び方という新たな判断の基準を持たせたいと考えている。

3 学習指導計画（全4時間）

第1次 「ものを買う時、何を気にして選ぶ？」という問いで話し合う。…1時間

第2次 「チョコレートを買うとき、何を気にして選ぶ？」という問いで個人の考えを持ち寄り、ファミリーでひとつのダイヤモンドランキングを作る。…本時1／2時間

第3次 チョコレートの原料の生産に児童労働の事実があることを知り、今の自分達の生活と比較して考える。自分なりのダイヤモンドランキングを作る。…1時間

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- ・チョコレートを選ぶ時の視点として、どんなことを気にするのか、自分の考え方をみつめる。
- ・選ぶ決め手を友達と交流し、多様な価値観があることに気づく。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1. 「チョコレートを買うとき、どんなことを気にする？」という問いについて自分なりの答えをノートに書く。	・答えに対する理由をはっきりさせるように促す。
2. ファミリーで交流し、ファミリーごとにひとつのダイヤモンドランキングを作る。	・4人でひとつのランキングを作るときに意見の違いが生じ、簡単にひとつにはまとまらないことに注目させる。
3. ダイヤモンドランキングを発表しあい、学級内で交流する。	・消費者には社会的な役割があることについて、確認する。